

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 鳳会)
事業所名 (特別養護老人ホームふじトピア)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社 「眠りSCAN」 NN-1520			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月10日	7台	令和元年10月10日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・徘徊がある利用者や転倒のリスクがある利用者に使用しており、全7台使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・利用者の睡眠・覚醒の状態を通知により確認し、早めの訪室に活用している。 ・夜間の睡眠状態の把握をすることで、ケアに役立てている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・睡眠や覚醒の状態をリアルタイムで把握することで、利用者の転倒リスク軽減に繋がっている。 (職員に対する効果) ・徘徊や転倒リスクのある利用者の状態や動きをリアルタイムに把握することができ、早めの訪室等で利用者の転倒等の事故防止になる為、職員の安心感に繋がっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 鳳会)
事業所名 (ふじトピア短期入所生活介護事業所)
サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社 「眠りSCAN」 NN-1520			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 10 日	1 台	令和元年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・徘徊がある利用者や転倒のリスクがある利用者が利用する日に使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・利用者の睡眠・覚醒の状態を通知により確認し、早めの訪室に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・睡眠や覚醒の状態をリアルタイムで把握することで、利用者の転倒リスク軽減に繋がっている。 (職員に対する効果) ・徘徊や転倒リスクのある利用者の状態や動きをリアルタイムに把握することができ、早めの訪室等で利用者の転倒等の事故防止になる為、職員の安心感に繋がっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 医療法人社団 清秀会
事業所名 (介護老人保健施設 ケア・センターひまわり)
サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド社製 見守りケアシステム M2 FBR-N135 PS02/M2			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 24 日	10 台	令和元年 10 月 24 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 認知症ありコール対応出来ずベッドから起き上がり離床しようとして転落・転倒の危険あるため使用。移動・移乗・多動時の立位保持、立位歩行不安定からくる転倒・転落防止に繋がっている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 転倒・転落防止リスクが高い方に使用。 主に端座位設定で使用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサーとして細かく設定出来るため、転倒転落のリスク軽減。 ・以前使用していたセンサーは片側のみのため、反対側から離床されると気付かないことがあったが、それがなくなった。 ・コールが鳴り訪室すると利用者様から「来てくれて助かった」「ありがとう」等の声を多数聞かれる。 (職員に対する効果) ・センサーの付け忘れがなくなる ・その方に合った個別対応ができる ・ナースコールに直結するため、即急に対応できる			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス可睡の杜レジデンス)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 8 月 31 日	5	2019 年 8 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある入居者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある入居者の起き上がり情報 ・入居者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事の減少 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足の上昇 ・終末期の入居者の心拍の確認 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安の払拭による、精神的負担の軽減 ・巡視回数の削減による、身体的負担の軽減 ・職員の負担軽減による離職防止 (離職率の減少)			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス上島ショートステイ)

サービス種別 (単独型短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 8 月 31 日	3	2020 年 8 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある入居者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある入居者の起き上がり情報 ・入居者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事の減少 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足の向上 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安の払拭による、精神的負担の軽減 ・職員の負担軽減による離職防止 (離職率の減少)			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団浩葉会)

事業所名 (ショートステイ萌の家)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社「眠りスキャン」NM-1310			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月30日	1台	令和元年9月30日	無
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 夜間帯に安眠できない利用者を対象とし、夜間帯の行動および睡眠状態をセンサーで把握することで入居者の不眠解決、巡回の効率化およびリスクマネジメントができること。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 対象者の呼吸や心拍数がデータ化されることで、夜間帯に安眠できているか確認することができる。その結果、安眠できないケースを情報共有し日中帯の対応を検討することで不眠状態を改善することができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 夜間帯に不眠状態である利用者を把握することで、日中帯の活動についてどのようなプランが適切であるか検討することができる。 安眠できるようになることで、夜間帯の転倒事故等を未然に防ぐことができる。 (職員に対する効果) モニタに睡眠状態が表示されることで夜間帯の巡回を効率化することができる。 複数のモニタに同じ利用者の状態が表示されるため、夜勤スタッフで情報を共有することができる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 南浜名湖会)
事業所名 (特別養護老人ホーム 光湖苑)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床 3 モーター 見守りケアシステム FBR-N132 W2/M2			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 1 2 月 3 日	5 台	令和元年 1 2 月 3 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・転倒、転落のリスクが高い利用者様 ・状態把握、行動分析が必要な利用者様 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・ 4 つの見守りセンサーが内蔵されていることで、利用者様に合わせた見守りを設定し、動き出しを把握、転倒リスクを減らすことができる。 ・ ベッドがやや低床のため、転落時のケガのリスクを減らすことができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ センサーがベッドに内蔵されていることで、利用者様が気づくことなく、体動に合わせてセンサーが反応し、適切に訪室ができ、転倒、転落事故を未然に防ぐことができる。 (職員に対する効果) ・ 利用者様に合わせた見守り設定ができるため、職員の見守り業務量、精神的、身体的負担が軽減される。 ・ 見守りシステムがナースコールと連動しているため、記録システムへ転送され記録に残ることで、利用者様の行動パターン等の把握、分析ができ、介護の質の向上を図ることができる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 南浜名湖会)
事業所名 (老人短期入所事業 光湖苑)
サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床3モーター 見守りケアシステム FBR-N132 W2/M2			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年12月3日	1台	令和元年12月3日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・転倒、転落のリスクが高い利用者様 ・状態把握、行動分析が必要な利用者様 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・4つの見守りセンサーが内蔵されていることで、利用者様に合わせた見守りを設定し、動き出しを把握、転倒リスクを減らすことができる。 ・ベッドがやや低床のため、転落時のケガのリスクを減らすことができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサーがベッドに内蔵されていることで、利用者様が気付くことなく、体動に合わせてセンサーが反応し、適切に訪室ができ、転倒、転落事故を未然に防ぐことができる。 (職員に対する効果) ・利用者様に合わせた見守り設定ができるため、職員の見守り業務量、精神的、身体的負担が軽減される。 ・見守りシステムがナースコールと連動しているため、記録システムへ転送され記録に残ることで、利用者様の行動パターン等の把握、分析ができ、介護の質の向上を図ることができる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人三愛会)
事業所名 (特別養護老人ホーム愛華の郷)
サービス種別 (介護老人福祉施設)



見守り機器の製品名			
パラマウントベッド㈱ 「眠りスキャン」			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9 月 1 9 日	1 0 台	令和元年 9 月 1 9 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 歩行が不安定なご利用者のベッド上での状態及び離床したことが常に把握できるため転倒等の事故を未然に防ぐことができています。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 離床センサーとして活用できるほか、ご利用者のベッド上での状態（睡眠・覚醒・心拍数等）が確認できるため情報収集に役立っている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ご利用者の転倒を未然に防ぐことができています。 ベッド上での状態を常に記録できているので、ご利用者の行動を把握することができる。 (職員に対する効果) 巡視時だけではなく、常にご利用者の状態をパソコン上でチェックできるので職員の肉体的及び精神的な負担が大幅に軽減されている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 和松会)
事業所名 (特別養護老人ホーム 松寿園)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド エスパシアシリーズ KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 10 日	5 台	令和元年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・主に夜間の不穏行動に対する事故防止対策 ・ナースコールを自身で利用する事が困難で自身の判断による離床による転倒リスクの高い方 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・利用者に合わせた設定によりベッドから降りる前の動きを把握 ・起き上がりセンサーが感知しナースコールが反応したら職員が直ちに訪室し対応			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ナースコールの使用が困難で排泄の訴えが頻回な利用者に対するベッドからの起き上がりの状態でナースコールが反応するためベッドからの転落事故防止に繋がり利用者の安全が確保された (職員に対する効果) ・夜間ベッド上での起き上がりがどの程度起こるのか把握できる事により転落防止の対策が取りやすくなった			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 和松会)
事業所名 (松寿園短期入所生活介護事業所)
サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド エスパシアシリーズ KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 10 日	1 台	令和元年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・主に夜間の不穏行動に対する事故防止対策 ・ナースコールを自身で利用する事が困難で自身の判断による離床による転倒リスクの高い方 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・利用者に合わせた設定によりベッドから降りる前の動きを把握 ・起き上がりセンサーが感知しナースコールが反応したら職員が直ちに訪室し対応			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ショートステイでは帰宅願望の訴えが多い方が多く夜間目が覚めて自宅ではないと分かると自身で離床してしまう方が多くナースコールがすぐに反応する事で職員が訪室し対応し利用者の転倒事故防止、不安感解消につながった。 (職員に対する効果) ・ショートステイ利用中の転落転倒事故に特に注意し骨折等による怪我をおうことなく在宅生活に戻る事が出来た（骨折等による ADL 低下は在宅生活の継続が困難になる主な要因なため特に注意している）			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 三和会)

事業所名 (介護老人福祉施設 第二砂丘寮)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 27 日	7 台	令和元年 11 月 27 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐ様、対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 今回、導入した離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援することが出来る。具体的には、ご利用者様が起き上がり、端座位および離床などの状況を把握することが可能であるため、これらの情報がリアルタイムに把握することが出来るため、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 本機を導入することにより、ご利用者様の起き上がりや離床などの動作を正確に検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまづきや手で触るなどの危険を排除することが出来る。それらの結果、転倒・転落事故等の予防につながり、転倒・転落等の事故削減が期待される。 (職員に対する効果) ベッドからの離床等が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があり、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知出来るため、職員はご利用者様の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが可能となる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 三和会)

事業所名 (第二砂丘寮ショートステイ)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 27 日	1 台	令和元年 11 月 27 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐ様、対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 今回、導入した離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援することが出来る。具体的には、ご利用者様が起き上がり、端座位および離床などの状況を把握することが可能であるため、これらの情報がリアルタイムに把握することが出来るため、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 本機を導入することにより、ご利用者様の起き上がりや離床などの動作を正確に検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコードなどを設置する必要がないため、つまづきや手で触るなどの危険を排除することが出来る。それらの結果、転倒・転落事故等の予防につながり、転倒・転落等の事故削減が期待される。 (職員に対する効果) ベッドからの離床等が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があり、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向があるが、本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知出来るため、職員はご利用者様の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安感や負担感を軽減することが可能となる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 遠江厚生園)
 事業所名 (介護老人福祉施設 第二遠州の園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1710F			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	3 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐ様、対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 今回、導入した離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援することが出来る。具体的には、ご利用者様が起き上がり、端座位および離床などの状況を把握することや、これらの情報がリアルタイムに把握することが出来るため、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 本機を導入することにより、ご利用者様の起き上がり離床等の動作を正確に検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコード等を設置する必要がないため、躓きや手で触るなどの危険を排除することが出来る。それらの結果、転倒・転落事故等の予防につながり、転倒・転落等の事故削減が期待される。 検証結果 介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を6か月ごとに集計した結果 →使用した利用者の方に対しての事故・ヒヤリの報告はなし。 (職員に対する効果) ベッドからの離床等が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があり、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向がある。本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知出来るため、職員はご利用者様の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安や負担感を軽減することが可能となる。 検証結果 介護職員の負担軽減の10段階評価表の集計結果 →日中、夜勤者の負担度は、減ったとの回答が多く不安、負担は軽減(7割程度)あり。			

見守り機器導入効果報告書

法人名（社会福祉法人 聖隷福祉事業団）

事業所名（介護付有料老人ホーム 浜名湖エデンの園）

サービス種別（特定施設入所者生活介護）

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド離床センサー付きベッド KA-N1710F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 30 日	4 台	2019 年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 転倒リスクがあるご入居者に対して見守り機器 4 台使用している。 見守り機器の機能種類により、その時の優先度に応じ対象者を再検討し変更も行った。会議にて使用の必要性を検討し、いずれの方も転倒のリスクが継続してある為、今後も使用の必要性があると考え る。 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） ・ベッドセンサー起き上がり発報機能（ナースコール連動）			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） 導入後転倒が 1 事例発生している。その後はご逝去や状態変化等により 5 事例使用、5 事例とも転倒件数は 0 件。センサーがベッド一体型であることで、他のセンサーに比べ設置に対してご入居者から不信感もたれないメリットがある。転倒リスクがあるご入居者に対して使用しており、早期対応ができることでベッドからの転倒・転落予防の効果が見られている。見守り機器を使用することでご入居者が居室で安全に休んでいただけていると考えられる。 （職員に対する効果） ・起き上がり・端坐位・離床とご入居者の状態、必要度に合わせて使い分けができる。 ・配線ケーブルなどが少ない為、居室清掃の際に邪魔にならない。			

見守り機器導入効果報告書

法人名（ 社会福祉法人信義福祉会 ）

事業所（特別養護老人ホームあかなすの里）

サービス種別（ 指定介護老人福祉施設 ）

見守り機器の製品名			
・コールマット・ハイパー ・サイドコール・ハイパー			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 9月 1日	1セット+1台	令和 元年 8月 20日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 臥床中に起き上がりふらつくなど転倒転落リスクの高い、認知症を患い危険行動が見らる入居者様に対し連日使用している。 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） 夜間就床後など、突然起きだそうとされる状況が多くある方に対し、センサーマットを使用しており、センサーが反応することによって随時訪問することができている。			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） ナースコールを押して職員を呼ぶ行為を失認したり出来ない状況の方に対しても、随時の対応が出来ることで、安心して生活することが出来ている。 （職員に対する効果） 定時巡視時以外に予想外の行動による転倒事故を未然に防ぐことができることで、安心して業務にあたることができるようになった。また、頻回な訪問による介護の手間や時間を他業務に回すことができるようになった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人 清仁会)

事業所名 (介護老人保健施設あかつきの園)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
FB-003L-6/30VM2 フランスベッド 見守り ケアシステム			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和2年 2月 21日	10台	令和2年 2月 21日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ ベッドからの転落・転倒リスクの高い方 ・ 自分での移動・移乗動作が不安定だが、自分でやろうしてしまう方 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・ 起き上がり時にセンサーが反応するため、端座位の段階で利用者様のところに行くことができ、転倒・転落事故の予防となっている。 ・ 起き上がりモード・端座位モードで使用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ 転落事故が減った(未然に防ぐことが出来ている)。 ・ サービスステーション前での見守りが必要であった方が、居室で休めるようになった。 (職員に対する効果) ・ 利用者様が離床する前にセンサーが鳴り気づくことが出来るため、夜間、居室で過ごすことが難しくサービスステーション前にベッドを設置していた方も居室で過ごすことができて眠れるようになった(利用者様にも良い効果有り)。 ・ センサーの反応が良く見守りが楽になった。 ※その他 ベッドに臥床していないにも拘わらず、センサーが反応することがある。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 公友会)

事業所名 (介護老人福祉施設ホームしあわせ)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	9 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐ様、対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 今回、導入した離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援することが出来る。具体的には、ご利用者様が起き上がり、端座位および離床などの状況を把握することや、これらの情報がリアルタイムに把握することが出来るため、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 本機を導入することにより、ご利用者様の起き上がり離床等の動作を正確に検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコード等を設置する必要がないため、躓きや手で触るなどの危険を排除することが出来る。それらの結果、転倒・転落事故等の予防につながり、転倒・転落等の事故削減が期待される。 検証結果②介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を集計した結果、当該ベッドを導入しているご利用者に関しては事故報告とヒヤリハットの件数が減少している。 (職員に対する効果) ベッドからの離床等が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があり、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向がある。本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知出来るため、職員はご利用者様の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安や負担感を軽減することが可能となる。 検証結果①介護職員の負担軽減の 10 段階評価表の集計結果、日勤帯では離床している時間が長いこともあり効果ははっきりとは現れていないが、夜勤帯に関しては見守りの負担がかなり減少している。目標の 2 割近くまで負担軽減することができた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 公友会)

事業所名 (ケアホームしあわせショートステイ)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	1 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐ様、対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 今回、導入した離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援することが出来る。具体的には、ご利用者様が起き上がり、端座位および離床などの状況を把握することや、これらの情報がリアルタイムに把握することが出来るため、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 本機を導入することにより、ご利用者様の起き上がり離床等の動作を正確に検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコード等を設置する必要がないため、躓きや手で触るなどの危険を排除することが出来る。それらの結果、転倒・転落事故等の予防につながり、転倒・転落等の事故削減が期待される。 検証結果②転倒リスクの高い方の利用は控えていただくことがあったが、当該ベッドを利用し転倒のリスクを軽減することができているため、積極的に受け入れを行うことができている。 (職員に対する効果) ベッドからの離床等が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があり、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向がある。本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知出来るため、職員はご利用者様の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安や負担感を軽減することが可能となる。 検証結果①介護職員の負担軽減の 10 段階評価表の集計結果、日勤帯では離床している時間が長いこともあり効果ははっきりとは現れていないが、夜勤帯に関しては見守りの負担がかなり減少している。目標の 2 割近くまで負担軽減することができた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 緑生会)
事業所名 (天王介護老人保健施設)
サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
株式会社テクノスジャパン 製品名：コールマット・コードレス標準サイズ（HC-R）			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年9月24日	10セット	令和元年9月24日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 重度認知症症状を有する利用者であり、危険認知力低下が著明で、転倒・（ベッド等からの）転落の可能性（重大事故につながる可能性）が高い方に使用している。 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） センサーコールと館内 PHS の連動により、コール時は最寄りのスタッフが迅速に駆けつける（事故を未然に防ぐ）ことが出来ている。			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） 必要時、迅速な訪室、声掛けが出来る為、転倒、転落防止につながっている。 （職員に対する効果） 上記館内 PHS との連動により、最寄りスタッフが駆けつけることが出来、業務効率があがった。 事故を未然に防ぐことが出来る、というスタッフの安心感につながっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 七恵会)

事業所名 (在宅複合型施設 長上苑)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 31 日	3 台	令和元年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐ様、対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 今回、導入した離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援することが出来る。具体的には、ご利用者様が起き上がり、端座位および離床などの状況を把握することや、これらの情報がリアルタイムに把握することが出来るため、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 本機を導入することにより、ご利用者様の起き上がり離床等の動作を正確に検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコード等を設置する必要がないため、躓きや手で触るなどの危険を排除することが出来る。それらの結果、転倒・転落事故等の予防につながり、転倒・転落等の事故削減が期待される。 検証結果②介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を6か月ごとに集計した結果 →離床センサー付きベッドを利用している方の事故・ヒヤリハット報告は挙げられていない。 (職員に対する効果) ベッドからの離床等が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があり、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向がある。本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知出来るため、職員はご利用者様の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安や負担感を軽減することが可能となる。 検証結果①介護職員の負担軽減の10段階評価表の集計結果 →集計の結果、負担軽減や安心に繋がっていると多くの職員が回答している。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (清水福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム柏尾の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム内蔵低床3モーターベッド			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
R1年11月27日	5台	R1年11月27日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ベッドからの転倒リスクの高い方に使用 ベッドを低床にすることができ、万が一ベッドから落ちてもけがのリスクが低いことと、利用者の動き出しにセンサーが稼働し、介護員が直ちに駆けつけることで、転倒防止につながった。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 利用者に気づかれることがなく、見守ることができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 日中において転倒リスクの高い利用者、徘徊が頻回な利用者に使用して、異変があった時にはすぐに対応ができ転倒が減った。 今迄は、センサーマットを使用していたが、マットに躓いて転倒したりマットを悪戯されることがなくなった。 (職員に対する効果) 夜勤勤務の人数の少ない時間帯でも、不穏状態の利用者の動き出しにセンサーが反応し、介護員はすぐに駆け付けることができた。また、介護員の見回りににおいても定期巡回以外に巡回が軽減し、落ち着いて、日誌の打ち込みが出来るようになった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 恵和会)
事業所名 (特別養護老人ホーム有度の里)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 低床3モーターベッド FBR-N135 X1 M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年 10月 31日	4台	令和1年 11月 20日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 独歩で歩行が困難な状態だが一人で離床して転倒してしまう。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 利用者の動き出しや、ベッド再度に座った時のコールによって駆けつけることができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 転倒防止ができる。 (職員に対する効果) 転倒リスクをセンサーによって回避できる安心感がある。			

別紙2

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 公友会)

事業所名 (介護老人福祉施設しあわせの園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名

パラマウントベッド
離床センサー付きベッド KA-N1710F

導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 11 月 30 日	3 台	2019 年 11 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで

【見守り機器の使用状況】

(使用対象者の状態・使用の必要性等)

現在、ご利用者様がベッド上での起き上がり時や、ベッドからの離床時に転落・転倒などが想定される場合、市販の離床センサーを設置したり、訪室回数を増やしたりすることにより見守りを強化することで、事故を未然に防ぐ様、対応している。しかしながら、新たな離床センサーの設置は、躓きの原因になったり、ご利用者様に違和感を与える原因になることもあり、新たな危険を誘発するケースも多く、その結果、介護職員の見守りへの負担が増加することにも繋がっている。

(見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例)

今回、導入した離床センサー付きベッドは、ご利用者様に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを検知することが可能となるため、より適時に安全な介護を提供することを支援することが出来る。具体的には、ご利用者様が起き上がり、端座位および離床などの状況を把握することや、これらの情報がリアルタイムに把握することが出来るため、適時、必要な支援が可能となり、危険の早期把握や事故防止に活用している。

【見守り機器の導入効果】

(利用者に対する効果) 本機を導入することにより、ご利用者様の起き上がり離床等の動作を正確に検知することが可能となる。また、従来のセンサーのようにご利用者様の周辺にコード等を設置する必要がないため、躓きや手で触るなどの危険を排除することが出来る。それらの結果、転倒・転落事故等の予防につながり、転倒・転落等の事故削減が期待される。

検証結果②介護事故・ヒヤリハットにかかわる報告を6か月ごとに集計した結果

→訪室の回数が減ることで利用者様も入眠時間の確保ができています。ヒヤリハットのケースが減り、職員も気持ちに余裕が生まれ負担軽減につながっている。

(職員に対する効果) ベッドからの離床等が心配されるご利用者様には離床センサーの使用や通常以上の定期巡回などで対応する必要があり、介護職員の不安感や負担感が増加する傾向がある。本機を効果的に活用することにより、ご利用者様のベッド上での動作を正確に検知出来るため、職員はご利用者様の動向を把握しながら業務遂行が可能となり、転倒リスク等に対する不安や負担感を軽減することが可能となる。

検証結果①介護職員の負担軽減の10段階評価表の集計結果

→目標の2割負担軽減することが達成できた。

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 天竜厚生会)
事業所名 (登呂の家)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N132 W2 M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 1 0 月 3 0 日	4 台	令和元年 1 0 月 3 0 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) センサーの設置位置やご利用者の体動状況によっては反応しないことがあり、転倒転落予防の効果が薄かった。反対に、意図していない姿勢でも反応することがあり、ご利用者にとって不要な訪室がみられた。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ① 5 つ (動き出し、起上がり、端座位、離床、離床管理) の通知モード。 ② 自動見守り再開機能 (介助時や食事の際に一時停止しても、ベッドに戻れば再設定することなく自動で再開する機能)			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ 誤報がないことにより、転倒転落を予防する効果が高まった。 ・ 不要な訪室が減り、以前と比較してプライバシーに配慮された環境を整えることができた。 ・ センサー内蔵のため、センサーを別に設置する必要がなく居室内の外観が良くなった。 (職員に対する効果) ・ 液晶手元コントローラーで簡単に設定できるため、設置にかかる労力が削減された。 ・ 誤報がないことで無駄な駆けつけが減少し、労力の削減が図れている。 ・ 自動見守り再開機能により、電源の入忘れといったヒューマンエラーがなくなった。 ・ 介護機器活用の意識が高まった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 天竜厚生会)

事業所名 (登呂の家)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N132 W2 M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月30日	1台	令和元年10月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) センサーの設置位置やご利用者の体動状況によっては反応しないことがあり、転倒転落予防の効果が薄かった。反対に、意図していない姿勢でも反応することがあり、ご利用者にとって不要な訪室がみられた。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ①5つ (動き出し、起上がり、端座位、離床、離床管理) の通知モード。 ②自動見守り再開機能 (介助時や食事の際に一時停止しても、ベッドに戻れば再設定することなく自動で再開する機能)			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・誤報がないことにより、転倒転落を予防する効果が高まった。 ・不要な訪室が減り、以前と比較してプライバシーに配慮された環境を整えることができた。 ・センサー内蔵のため、センサーを別に設置する必要がなく居室内の外観が良くなった。 (職員に対する効果) ・液晶手元コントローラーで簡単に設定できるため、設置にかかる労力が削減された。 ・誤報がないことで無駄な駆けつけが減少し、労力の削減が図れている。 ・自動見守り再開機能により、電源の入忘れといったヒューマンエラーがなくなった。 ・介護機器活用の意識が高まった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人慶成会)
 事業所名 (特別養護老人ホームグリーンヒルズ東山)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 眠り SCAN NN-1310			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
元年 9 月 16 日	14 台	元年 9 月 11 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 入居者の睡眠状態を知ることは、その方の生活の質を上げるためにはとても重要なことと考える。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 夜間の睡眠の質は、精神疾患にて内服薬を変更したときの評価としてとても重要で、この機器から得られたデータは、受診時にドクターへの情報提供としてとてもよい根拠となる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 排泄介助など睡眠が浅くなったタイミングにて介入することで、安眠につなげることが出来ている。 (職員に対する効果) 不必要な訪室が減り、業務の負担がなくなる。 ターミナル時の職員の精神的ストレスを軽減できる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人育清会)
 事業所名 (介護老人福祉施設 掃田川ホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM-2 FBR-N135W2/M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年10月23日	9台	2019年10月23日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 立ち上がり時、歩行時に転落、転倒のリスクの高い方の 動きだしの把握 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 動きだし、起き上がりモード 端座位モード			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 見守り機器を使用している方のベッドからの転落、ベッドを離れて の行動による転倒は1件のみである。 原因は、臥床時に職員がスイッチを入れたことによるもの であった。見守りの効果は大きい。 (職員に対する効果) ブースコールとつながっている事で、フローにいても把握しやすい			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人慈照会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム浜石の郷 従来型)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 見守りケアシステム内蔵 低床 3 モーターベッド (FB-033 L-6 30V M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和 1 年 10 月 31 日	5 台	令和 1 年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ ナースコールを押さずにベッドから起き歩こうとされる方で、歩行不安定の方。 ・ 落ち着きがなく多動でベッドからの転落の危険性が高い方。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・ それぞれ行動パターンの異なるご利用者に対してベッド内蔵のセンサーにより、ベッド上での動きを 4 つのメニュー (動き出し・起き上がり・端座位・離床) と 3 段階の感度を設定し動きに合わせ自動で感知。ナースコールに発報する機能を活用。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ 歩行不安定また歩行困難の方等に対しそれぞれの動きのタイプに合わせた設定ができるため転倒事故予防、怪我予防に役立っている。 ・ センサーの感度が従来のものより高く誤作動が減ったことにより、訪室回数が減り、ご利用者のプライバシーに配慮ができています。 (職員に対する効果) ・ 効率的な見守りが可能となり、身体的負担と共に精神的負担の軽減につながっている。(特に夜勤勤務者) ・ 自動見守り再開機能により、電源の入れ忘れといったヒューマンエラーを防ぐことができた。 ・ 誤報が少ないため無駄な駆けつけが減少し、フロアでのレクリエーションなど活動を集中し行うことができるようになった。 ・ どうしても目を離してしまうようなやむを得ない状況においても、センサーベッドにより転落事故を未然に防ぐことができたケースも多い。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 慈照会)
 事業所名 (浜石の郷 短期入所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 見守りケアシステム内蔵 低床3モーターベッド (FB-033 L-6 30V M2)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和1年10月31日	1台	令和1年10月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ナースコールを押さずにベッドから起き歩こうとされる方で、歩行不安定の方。 ・落ち着きがなく多動でベッドからの転落の危険性が高い方。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・それぞれ行動パターンの異なるご利用者に対してベッド内蔵のセンサーにより、ベッド上での動きを4つのメニュー(動き出し・起き上がり・端座位・離床)と3段階の感度を設定し動きに合わせ自動で感知。ナースコールに発報する機能を活用。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・歩行不安定また歩行困難の方等に対しそれぞれの動きのタイプに合わせた設定ができるため転倒事故予防、怪我予防に役立っている。 ・センサーの感度が従来のものより高く誤作動が減ったことにより、見廻り回数が減りご利用者のプライバシーに配慮した対応ができる。 ・ベッド自体にセンサーが組み込まれているため、マット式に比べ寝心地の違和感なく休むことができる。 (職員に対する効果) ・効率的な見守りが可能となり、身体的負担と共に精神的負担の軽減につながっている。(特に夜勤勤務者) ・自動見守り再開機能により、電源の入れ忘れといったヒューマンエラーを防ぐことができた。 ・脚力の低下など前回のご利用と大きく状態変化がみられた場合も、以前に比べ安心して受け入れができるようになった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人慈照会)
事業所名 (特別養護老人ホーム浜石の郷ユニット型)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 見守りケアシステム内蔵 低床3モーターベッド (FB-033 L-6 30V M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和1年10月31日	4台	令和1年10月31日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ナースコールを押さずにベッドから起き歩こうとされる方で、歩行不安定の方。 ・落ち着きがなく多動でベッドからの転落の危険性が高い方。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・それぞれ行動パターンの異なるご利用者に対してベッド内蔵のセンサーにより、ベッド上での動きを4つのメニュー (動き出し・起き上がり・端座位・離床) と3段階の感度を設定し動きに合わせ自動で感知。ナースコールに発報する機能を活用。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・歩行不安定また歩行困難の方等に対しそれぞれの動きのタイプに合わせた設定ができるため転倒事故予防、怪我予防に役立っている。 ・センサーの感度が従来のものより高く誤作動が減ったことにより、訪室回数が減ったことでご利用者のプライバシーに配慮できる。 ・ベッド一体型センサーのため、背中等上半身に段差ができず不快感なく休むことができる。 (職員に対する効果) ・効率的な見守りが可能となり、身体的負担と共に精神的負担の軽減につながっている。 (特に夜勤勤務者) ・自動見守り再開機能により、電源の入れ忘れといったヒューマンエラーを防ぐことができた。 ・誤報が少ないため無駄な駆けつけが減少し、フロアでのレクリエーションなど活動を集中し行うことができるようになった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 嬰育会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 福聚荘)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウント 離床センサー付きベッド			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 1 年 10 月 10 日	4 台	令和 1 年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 歩行可能だがふらつきのある利用者様、認知症があり危険意識の低い利用者様へ使用している。介護職員が少ない時間帯に、自力でベッドから立ち上がろうとされている際に転倒・転落の危険性があったが、見守り機器の導入により職員がかけつけることができ、事故を予防することができた。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ベッド内臓のセンサーによる、ベッド上の利用者様の動きを 4 段階（起き上がり、端座位、離床、見守り）に分けて自動で感知しナースコールに発報する機能			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 自力歩行だが不安定な方や歩行困難な利用者様、認知症のある利用者様等が自力でベッドより立ち上がり歩行しようとする際に、センサーが反応し職員がいち早く駆けつけられるため、安全確保がより図れるようになった。 (職員に対する効果) 利用者様のさまざまな動きを検知し、ナースコールで知らせる事で、夜間や日中の他業務をしている際にも危険を察知することができるため、事故を防ぐことができ、介護職員の精神的ストレスの軽減になっていると思われる。また、不要な訪室の減少にもつながる為、労力の大幅な軽減、時間短縮等の業務内容の改善にもなっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 嬰育会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 福聚荘 (ユニット))
 サービス種別 (ユニット型地域密着型介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウント 離床センサー付きベッド			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和 1 年 10 月 10 日	1 台	令和 1 年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 歩行可能だがふらつきのある利用者様、認知症があり危険意識の低い利用者様へ使用している。介護職員が少ない時間帯に自力でベッドから立ち上がろうとされている際に転倒・転落の危険性があったが、見守り機器の導入により職員がかけつけることができ、事故を予防することができた。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ベッド内臓のセンサーによる、ベッド上の利用者様の動きを 4 段階 (起き上がり、端座位、離床、見守り) に分けて自動で感知しナースコールに発報する機能			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 自力歩行だが不安定な方や歩行困難な利用者様、認知症のある利用者様等が自力でベッドより立ち上がり歩行しようとする際に、センサーが反応し、職員がいち早く駆けつけられるため、安全確保がより図れるようになった。 (職員に対する効果) 利用者様のさまざまな動きを検知し、ナースコールで知らせる事で、夜間や日中の他業務をしている際にも危険を察知することができるため、事故を防ぐことができ、介護職員の精神的ストレスの軽減になっていると思われる。また、不要な訪室の減少にもつながる為、労力の大幅な軽減、時間短縮等の業務内容の改善にもなっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人杉の子)

事業所名 (特別養護老人ホーム住吉杉の子園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド見守りケアシステムM-2			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和2年11月14日	2 台	令和2年11月14 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・転倒リスクが高く見守りの必要性の高い方 ・入所、退院され夜間の様子が想定できない方 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・ベッドから起き上がる前を把握			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・転倒のリスクを回避 (職員に対する効果) ・センサーに対する意識が高くなる ・頻回に訪室せず業務の軽減となる			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 大東福祉会)
 事業所名 (介護老人福祉施設 くにやす苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド エスピアシリーズ KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 12 月 20 日	8 台	2019 年 12 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ 日中・夜間共に居室ベッドで休まれる入居者の状態把握に使用している。 ・ 転落のおそれがある入居者に優先して配置。導入した 8 台全て配置している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・ 離床及び端座位情報がナースコールと連動しているので、入居者がベッド上で動かれた時の状態がタイムリーに把握でき、転倒転落防止に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ ベッド上で休まれている入居者の状態確認を頻回に行わずに済み、休息の妨げとならず、ゆったりと休まれる時間が増えた。 ・ ベッドからの転落や居室内の転倒が減少すると見込まれる。 ・ 従来型のセンサーとは異なり、ベッド周辺のコード設置がないため躓きが防止されている。 (職員に対する効果) ・ 介護職員の安心感につながる。効果的な見守りがあるため、転倒転落リスクに対する精神的負担が軽減した。訪室しての入居者の状態確認が減少し、身体的負担が軽減した。 ・ 見守り機器があることで、他の業務を行える時間が増えた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人大東福祉会)

事業所名 (くにやすショートステイサービス)

サービス種別 (ショートステイサービス)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド 離床センサー付きベッド エスエスシリーズ KA-N1720F			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 12 月 20 日	1 台	2019 年 12 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） ・ 日中・夜間共に居室ベッドで休まれる利用者の状態把握に使用している。 ・ 転落のおそれがある利用者に配置している。 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） ・ 離床及び端座位情報がナースコールと連動しているので、利用者がベッド上で動かれた時の状態がタイムリーに把握でき、転倒転落防止に活用している。			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） ・ ベッド上で休まれている利用者の状態確認を頻回に行わずに済み、休息の妨げとならず、ゆったりと休まれる時間が増えた。 ・ ベッドからの転落や居室内の転倒が減少すると見込まれる。 ・ 従来型のセンサーとは異なり、ベッド周辺のコード設置がないため躓きが防止されている。 （職員に対する効果） ・ 介護職員の安心感につながる。効果的な見守りがあるため、転倒転落リスクに対する精神的負担が軽減した。訪室しての利用者の状態確認が減少し、身体的負担が軽減した。 ・ 見守り機器があることで、他の業務を行える時間が増えた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人珀寿会)

事業所名 (高部陽光園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
コールマット徘徊コールⅢ (ケーブルタイプ)、超音波・赤外線コール			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和1年 10月 1日	8台	令和1年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 職員の声かけの理解ができず、夜間帯転倒事故のリスクがある。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 排泄の時間、覚醒する時間の把握。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 夜間帯覚醒し立ち上がろうとする際、見守り機器のセンサー反応にて職員が事前に把握し対応することができ、事故、ヒヤリハット件数が減少した。 (職員に対する効果) 夜間帯は人員が少なく、転倒事故がいつ起こってもおかしくない状況で常に緊張した状態で勤務をしていたが、導入後は立ち上がりのタイミングを事前に把握できるため精神的に安心して業務を遂行することができるようになった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 友成医院)
 事業所名 (介護老人保健施設きりぎりす)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
(株) テクニシヤホン ・コールマット・徘徊コールⅢ (HC-3) ×1 ・バッドコール・ケーブルタイプ (BC-2) ×1 ・サイドコール・ケーブルタイプ (SC-11) ×1			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
R1年 9月 7日	各1セット、計3セット	R1年 9月 7日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 利用者の転倒、転落、徘徊の予防 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 見えない所に居る利用者の状況・状態の把握、早期対応、処置			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 介護業務の改善、効率化によるより良い介護サービスの提供 (見えない所で起きるケガや事故、各種事案発生の軽減) (職員に対する効果) 介護業務の改善、効率化によるより良い就業環境の構築 (早期対応、処置により 作業工数、工程の改善、軽減の実現)			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団博恵会)
事業所名 (介護老人保健施設アリス草薙)
サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
フランスベッド 見守りケアシステム内臓低床3モーターベッド FB-033 L-6 30V M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 31 日	5 台	令和元年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 使用対象のご利用者の状態 車椅子を利用することなく、自分の足で独りで歩くことができるが、歩行が安定せず、職員の見守りが必要 使用の必要性 ベッドからの離床に当たり、いち早く職員が見守りにつけるようにするために必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 見守り機器から得られる情報のうち、ご利用者がベッド上で起き上がったときの通知を、特に活用。通知があった際、離床に備え、職員が見守りに居室を訪れている。今後は、利用者がどの時間に、どのような動きを取っているのかデーターを取り、就寝時間帯のご利用者の行動パターンを把握し、それに合わせて職員が動くことで、転倒事故の防止を図っていきたい。たとえば、精神的に不安定な状態のときに事故が起こることが多いため、ここ数日は、いつもと行動パターンが違っていたときは注意を強めるといったことを考えている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ご利用者が就寝中、トイレ等で目を覚ましたのが直ちにわかり、職員が付き添うことができ、ベッドから離れた直後や、トイレに行き来する間に起きる事故を未然に防ぐことができている。 (職員に対する効果) 転倒のリスクが高い利用者への配慮、および事故への不安は、職員にとって精神的に大きな負担だったが、その軽減が図られた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 デンマーク牧場福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホーム ディアコニア)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM2 (FBD-N136 W1/M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和1年 9月 30日	8台	令和1年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ベッドからの転倒リスクが高い方を対象に使用した。 ・足元センサー使用者の方で、センサーにつまずくリスクがある方に対して使用した。 ・ベッド上に敷いてあるセンサー使用者に対して体動によるセンサー反応等、不必要な訪室を避けることを目的として使用した。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・カメラや画像データは取り扱わず、個々の利用者状況に合わせてセンサーを稼働させるタイミングを設定している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサー対象者に対して、センサー設置前と設置後において、ベッドからの転倒回数を比較した結果、センサー設置前に比べセンサー設置後のベッドからの転倒件数が24件⇒17件に減少した。 ・センサー設置前は足元センサーにつまずいて転倒するケースが何件か発生したが、センサー設置後はつまずく事故は無くなった。 ・個々の利用者状況に合わせてセンサーを稼働しているため、センサー設置前に比べ夜間帯の過度な訪室を減らすことができた。 (職員に対する効果) ベッドからの転倒回数が減少した結果、職員の中で利用者を転倒させてしまったことに対する悔やみを減らし、訪室回数を減少させることで職員の業務負担軽減に繋がった。また、個々の利用者に合わせて適切にセンサーが反応したため、センサー設置前に比べより未然に危険に対する対応が可能となり職員の安心感にも繋がった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 デンマーク牧場福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム ディアコニア・ショート)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステムM2 (FBD-N136 W1/M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和1年 9月 30日	1台	令和1年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ベッドからの転倒リスクが高い方を対象に使用した。 ・足元センサー使用者の方で、センサーにつまずくリスクがある方に対して使用した。 ・ベッド上に敷いてあるセンサー使用者に対して体動によるセンサー反応等、不必要な訪室を避けることを目的として使用した。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・カメラや画像データは取り扱わず、個々の利用者状況に合わせてセンサーを稼働させるタイミングを設定している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサー対象者に対して、センサー設置前と設置後において、ベッドからの転倒回数を比較した結果、センサー設置前に比べセンサー設置後のベッドからの転倒件数が7件⇒1件に減少した。 ・個々の利用者状況に合わせてセンサーを稼働しているため、センサー設置前に比べ夜間帯の過度な訪室を減らすことができた。 (職員に対する効果) ベッドからの転倒回数が減少した結果、職員の中で利用者を転倒させてしまったことに対する悔やみを減らし、訪室回数を減少させることで職員の業務負担軽減に繋がった。また、個々の利用者に合わせて適切にセンサーが反応したため、センサー設置前に比べより未然に危険に対する対応が可能となり職員の安心感にも繋がった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人斉慎会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム西之島の郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド株式会社「眠り SCAN」NN-131			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 12 月 4 日	8 台	令和元年 12 月 4 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・看取り対象者や健康状態不安定な方の状態変化の早期発見のために使用しています。それ以外にも、夜間不眠の方や入居間もない方のご様子の確認にも使用することがあります。 ・転倒リスクがある方の離床センサーとしての使用もあります。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・転倒リスクがある方の離床センサーとしての情報。 ・夜間睡眠時のバイタル情報。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・転倒リスクがある方に離床センサーとして使用することにより、転倒リスクの早期発見と転倒未然防止に効果があります。 ・夜間不眠の方の睡眠状況を把握することにより、適正な排泄パターンの組み立てに役立っています。 (職員に対する効果) ・転倒リスクがある方に離床センサーとして使用することにより、見守り職員のマンパワーと職員のストレス軽減に効果があります。 ・夜間睡眠状況の把握が、適正なケアマネジメントの運用に活用されています。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 和恵会)

事業所名 (入野ケアセンター)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
コールマット徘徊コールHC-III			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
R1 年 9 月 30 日	11 台	R1 年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・立上り、立位保持が不安定な利用者 ・車椅子からの移乗に不安定な利用者 上記利用者の転倒リスクが高いため使用する。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ベッドの足元に設置し、端坐位になった状態に対応する。 居室の出入口に設置し、移動時の早期発見につなげる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 転倒事故件数 H30 年度 55 件 R1 年度 22 件 (職員に対する効果) 業務負担による職員離職者数 0			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 行和会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 葵の里)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
①超音波・赤外線コール HUI-R (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
②ベッドコール・コードレス BC-RN (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 25 日	①×1 台 ②×4 台	2019 年 9 月 25 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・認知症状による昼夜 (特に夜間) のベッドからの起きだし、ずり落ちが頻回な入所者様のベッドからの転落予防。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・①超音波・赤外線コールによる入所者様の夜間の起きだし等をコールの発生時間や回数などから頻度や時間帯などの情報として分析することができ職員間での情報共有し転落予防に繋がっている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサーコールにより夜間の訪室回数を各入所者様で把握ができ、必要以上に訪室しなくてすむため入所者様の安眠に繋がっている。 (職員に対する効果) ・夜間職員数が少ないため、入所者様への訪室回数が減ったことや、コールによる対応ができることにより夜勤職員の身体的・精神的な負担が軽減されている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 行和会)
 事業所名 (地域密着型介護老人福祉施設 こうこうの里)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
①超音波・赤外線コール HUI-R (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
②ベッドコール・コードレス BC-RN (分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年9月25日	①×1台 ②×1台	2019年9月25日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・認知症状による昼夜(特に夜間)のベッドからの起きだし、ずり落ちが頻回な入居者様のベッドからの転落予防。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・①超音波・赤外線コールによる入居者様の夜間の起きだし等をコールの発生時間や回数などから頻度や時間帯などの情報として分析することができ職員間での情報共有し転落予防に繋がっている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・センサーコールにより夜間の訪室回数を各入居者様で把握ができ、必要以上に訪室しなくてすむため入居者様の安眠に繋がっている。 (職員に対する効果) ・夜間職員数が少ないため、入居者様への訪室回数が減ったことや、コールによる対応ができることにより夜勤職員の身体的・精神的な負担が軽減されている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 山川会)
 事業所名 (介護老人保健施設 ^{ワイヤレス} 芳川)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
コールマット・コードレス		ワイヤレスマットセンサー	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 1年 9月30日	MSN1200R/HC-R コール 4台 ワイヤレスセンサー 4台	令和 1年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 移動時にふらつきが多く見守りが必要な入所者が、コールを押して職員を呼ぶ事が出来ずに1人でベッドから移動しようとした際、センサーマットが反応し転倒を防ぐことができた。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 一日の中でこういった時間帯にセンサーマットが反応しているのかを確認することで、事前にその時間帯に居室を訪問し転落・転倒を未然に防ぐことができた。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ベッドからの転落・転倒防止 利用者本人の行動パターンや精神状態を知らせることができる (職員に対する効果) 利用者の精神状態の把握が可能 転落・転倒が軽減することによる安心感			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団 山川会)

事業所名 (ケアセンター芳川)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
座コール・メロディタイプ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和 1 年 9 月 30 日	2 台	令和 1 年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 大腿部の骨折や筋力低下により歩行が困難で移動時車いすを使用している利用者が、不穏な時や認知症状にて1人で車いすから立ち上がってしまうのを知らせてくれるため、車いすからの転落・転倒防止を未然に防ぐ事ができている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 不穏な時に1人で立ち上がる事が多いため、その日の行動パターンや精神的状態の把握が可能になり、車いすからの転落・転倒を未然に防ぐことができ、安心できる場を提供するような関わりを持つ事ができた。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 車椅子からの転落・転倒の防止 利用者本人の行動パターンや精神状態を知らせることができる (職員に対する効果) 利用者の精神状態の把握が可能 転落・転倒が軽減することによる安心感			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (株式会社グリーンランド)
事業所名 (ナーシングホーム静養館御前崎オーシャンビュー)
サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N135 PS02/SU/M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10月 31日	8 台	令和元年 10月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・歩行ができないが、認知症によりその認識できず、ベッドから起き上がり、歩行しようとベッドから降りてしまう。事故防止の為、ベッドから起き上がった時点での察知が必要。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・動き出し、起き上がり、端座位などの離床予知アラームを特に活用している。 ・お客様の動作時間情報を活用し、訪室までの時間を考え、どの時点でのアラームが必要か設定可能となっている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・転倒防止、安全確保ができています。 ・動きを制限させることがない為、ご本人が穏やかに過ごすことができる。 ・センサーに対する違和感の軽減。 ・過度な巡視で睡眠を妨げられることなく良質な睡眠が取れている。 (職員に対する効果) ・早い段階でお客様の動きを察知できる為、転倒防止、安全確保ができています。 ・お客様の動きを制限することなく、職員も穏やかに自然に介護することができる。 ・事故防止に対する心理的ストレスの軽減。不安感・負担感の軽減。 ・最適なタイミングでの訪室が可能となり、業務改善につながっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人十字の園)

事業所名 (松崎十字の園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
眠り SCAN			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 27 日	2	2019 年 10 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 2 台とも夜間不眠傾向、熟睡困難が顕著な利用者が使用。夜間・深夜帯の中途覚醒時に転倒・転落リスクの高い利用者の安全確保上、機器の必要性が高い (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 睡眠日誌にて眠りのバイオリズムが把握できる。健全なリズムで生活できるように、昼寝・夕方～就寝時間までの覚醒維持等、不眠を呈している利用者へ睡眠改善のアプローチができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 睡眠リズムができることにより、日中の生活リズムを調整し不眠解消が期待できる。 起上、離床検知により、転倒・転落の事故を防ぐことが期待できる。 (職員に対する効果) 遠隔での状態確認が可能な為、不必要な巡視が減り、身体的・精神的な負担軽減が期待できる。			

上記に記載して下さい。導入年の翌年 4 月に提出を 3 年報告 例 2019-9 月・・・2020～2023 の 3 回

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団健社会)

事業所名 (介護老人保健施設アポロン)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
パナマウントベッド(株)エスパシアシリーズKA-N1470F			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 12月 21日	10台	令和元年 12月 21日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 夜間トイレ起床時、転倒リスクが高い利用者 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 超低床機能による転落事故防止 離床センサーによる行動把握と転倒防止			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 夜間トイレ離床時の転倒リスクの回避 超低床機能での転落時、大怪我の回避 新規利用者の行動把握 (職員に対する効果) 排泄パターンが把握出来ることにより、夜間の訪室回数が減らせた。 事前に危険が察知でき、安心してケアができる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 千寿の園)
 サービス種別 (介護保険施設)

見守り機器の製品名			
見守り支援システム エスパシアシリーズ (KA-N1710J)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年11月27日	7台	令和元年12月5日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 夜間、排泄等で起きられる方、また浅眠・不眠等で起きる方に使用。 特に転倒のリスクが高い利用者と新規利用者の状況把握(特に夜間)には必要である。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) センサー反応がある事で、特に夜間の行動(体動)がわかり、利用者によっては排泄時間の目安や回数等が理解できてきた方もいる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 利用者の状態、状況に合わせたセンサー設定ができることで、その方にあった見守りができ、利用者のプライバシーに配慮できている。 特に夜間の体動はセンサー反応がある事で事前の対応ができ、転倒や転落を防ぐことができています。 (職員に対する効果) センサーベッドの設定、操作方法が簡素化され、目視での確認がしやすくなった事で、設定ミスが減った。 利用者の状態、状況に合わせたセンサー設定ができることで、その方にあった見守りができ、不要な訪室回数が削減できたことで、精神的、肉体的な疲労感の軽減が図れた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 千寿の園)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
見守り支援システム エスパシアシリーズ (KA-N1710J)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 27 日	1 台	令和元年 12 月 5 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 夜間、排泄等で起きられる方、また浅眠・不眠等で起きる方に使用。 特に転倒のリスクが高い利用者と新規利用者の状況把握（特に夜間）には必要である。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) センサー反応がある事で、特に夜間の行動（体動）がわかり、利用者によっては排泄時間の目安や回数等が理解できてきた方もいる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 特に夜間の体動はセンサー反応がある事で事前の対応ができ、転倒や転落を防ぐことができています。 新規利用者の夜間の状況把握において、センサー反応がある事で、利用者のプライバシーに配慮した見守り方ができる。 (職員に対する効果) 短期入居に関しては、特に新規入居者の夜間状況の把握に効果を得ている。センサーベッドを使用する事で、定時の巡回と反応があった際に対応することで、精神的にも肉体的にもストレスの軽減が図れている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名（社会福祉法人 信愛会）

事業所名（特別養護老人ホーム 和みの郷）

サービス種別（介護老人福祉施設）

見守り機器の製品名			
ペイシェントウォッチャーPlus			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和1年9月30日	8台	令和1年9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 （使用対象者の状態・使用の必要性等） 自立度は比較的高いが、起き上がり、移乗動作が不安定で見守りが必要な方に使用している。 （見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例） 居室でのご利用者様の状態をモニターにて見守りをしている。			
【見守り機器の導入効果】 （利用者に対する効果） 職員の過度な介入がなくなり、ご利用者様の尊厳を保ちながら安全に居室にて過ごされる ことができている。 （職員に対する効果） 巡回の頻度が少なくなり、職員の負担が軽減されている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 喜久の園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド (株) 見守り支援ベッドシステム KA-N1710 J			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 12 月 31 日	5 台	令和元年 12 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 認知症重度、ナースコール使用方法への理解困難、トイレ頻回、昼夜逆転、入居間もない利用者それぞれの状態に合わせ、その利用者に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを感知することが可能となった。見守り機器により、適切なタイミングで訪室や対応をすることが出来ており、より安全かつプライバシーへの配慮したケアを提供できていると考えられる。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 活動 (起きだしやトイレ等) 時間、間隔、経過時間等。またそれらに対応する支援。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 利用者の居室ベッド上での転落や転倒リスクへの回避が出来つつある。利用者によっては、生活パターンを把握することにより、職員の見守りや介入により自立支援に向けた生活を送ることが出来ている。 (職員に対する効果) ユニット型施設でかつ、全室個室である為、ベッド上での動きの把握の必要性がある利用者への対応が可能になった。夜間帯や人手が薄い時間帯、介護職員の身体的・精神的負担の軽減にも繋がっている。また見守り機器を活用しながら、介護職員は利用者へのケアやサービスの質の向上にむけての支援を検討する機会となっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 白翁会)
事業所名 (特別養護老人ホーム 喜久の園)
サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド (株) 見守り支援ベッドシステム KA-N1710 J			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 12 月 31 日	1 台	令和元年 12 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 新規利用者、認知症重度、ナースコール使用方法への理解困難、トイレ頻回、昼夜逆転等々、それぞれの状態に合わせ、その利用者に違和感を与えることなく、ベッド上での動きを感知することが可能となった。見守り機器により、適切なタイミングで訪室や対応をすることが出来ており、より安全かつプライバシーへの配慮したケアを提供できていると考えられる。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 活動 (起きだしやトイレ等) 時間、間隔、経過時間等。またそれらに対応する支援。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 利用者の居室ベッド上での転落や転倒リスクへの回避が出来つつある。利用者によっては、施設利用時の生活パターンを把握することにより、在宅生活がより自立支援にむけたものなる方もいる。 (職員に対する効果) ユニット型施設でかつ、全室個室である為、ベッド上での動きの把握の必要性がある利用者への対応が可能になった。夜間帯や人手が薄い時間帯、介護職員の身体的・精神的負担の軽減にも繋がっている。また見守り機器を活用しながら、介護職員は利用者へのケアやサービスの質の向上にむけての支援を検討する機会となっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 富士厚生会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム シャローム富士川)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和元年10月1日	3台	令和元年9月27日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ① お看取り介護中の方及び危篤状態にある方…身体状況の観察からでは把握できない状態の変化へいち早く気付く為 ② 新規入居者…日中の静養時、夜間の入眠時、特に夜間の睡眠状況を把握し本人の睡眠、静養を妨げないケア確立の為 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ① 対象者の呼吸数、心拍数…平均値を割り出し、その範囲からの上昇、下降に合わせより迅速な医療従事者への連絡が行えるなど、以前よりも早い対応が取れています。 ② 対象者が覚醒しているか、熟睡しているか…排せつ介助等対応に当たる際、熟睡されている状態時に声掛けなどで睡眠妨げてしまい不安にさせBPSDを助長してしまうことがありましたが睡眠状況を把握することで不快な思いをさせることなく覚醒している時に必要な対応が行えるようになりました。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ① よりは対対応が行えるようになり大事に至る前に医療的な対応が行えるようになりました。 ② 排せつ介助等対応に当たる際、熟睡されている状態時に声掛けなどで睡眠妨げてしまい不安にさせBPSDを助長してしまうことがありましたが睡眠状況を把握することで不快な思いをさせることなく覚醒している時に必要な対応が行えるようになりました。 (職員に対する効果) ① 対象者を目の前にしていなくてもその時点での状態把握が行えるためいち早い対応準備、安心感が増しました。 ② 情緒不安定な方が睡眠を妨げられることにより不穏となり、徘徊等BPSDを助長し見守りに時間を割かれたの方々への支援が遅れてしまう等があったが熟睡している状態に声掛けなどを避けることが出来、結果BPSDが解消され不必要に刺激してしまうことがなくなりました。また、支援の遅れを軽減することが出来ています。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人葉月会)

事業所名 (亀寿の郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
コールマットマットレス HC-R (MSN1200R) ⑭A3NF			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
1年 9月 30日	5台	1年 9月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 夜間帯ベット臥床後、立位困難もしくは歩行困難でありながら認知症で状況理解できず起き上がりベットから降りようとする等の危険行為あり、見守りがないと転倒リスクが非常に高い方に使用しています。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 転倒リスクの高いご利用者様が、ベット上で端坐位になりベットからの転倒転落の危険性が高まった際にナースコールと連動する機能を活用しています。また、コールの頻度、時間等を分析することで夜勤者の巡視目安をたて、介護職員の精神的、身体的負担の軽減を図ることに活用しています。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・見守り機器導入により、ご利用者様の転倒リスクが予防、回避できています。 (職員に対する効果) ・センサーマットコールにより不要な見守りを減らすこと、またコールの頻度、時間等を分析することで夜勤者の巡視目安をたて、介護職員の精神的、身体的負担の軽減を図ることができています。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人県民厚生会)

事業所名 (特別養護老人ホームきらら藤枝)

サービス種別 (老人福祉施設



見守り機器の製品名			
見守り支援システム「眠りSCAN」 (NN-1310)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和2年1月31日	7台	令和2年1月31日	年 月 日から

【見守り機器の使用状況】

(使用対象者の状態・使用の必要性等)

特養全体の平均要介護度4。すべての利用者に設置。車いす使用、もしくは歩行に見守りや介助が必要な方が大半。

(見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例)

起き上がり検知、心拍異常検知、呼吸異常検知、睡眠状況の確認。活用例は添付書類参照。

【見守り機器の導入効果】

(利用者に対する効果)

- ・ターミナル期の入居者に関して、見守り設定を24時間設定にし、異常に素早く対応。
- ・時折、夜間覚醒がある方の睡眠パターンの把握。
- ・起き上がり、転倒の恐れのある方へ、起き上がった時点でアラームが鳴り、すぐにトイレ誘導等、必要な介助ができ、転倒も予防できている。
- ・心拍、呼吸の状態から、体調不良の症状出現以前に兆候を掴むことによって、事前に見守りを強化するなどの対策がとれる。
- ・コールが押せない入居者がトイレに行きたい等の意思表示を、起き上がりで知らせることができている。

(職員に対する効果)

- ・アラームにてお知らせがあることへの夜勤者の心的負担の軽減。
- ・睡眠パターンや心拍・呼吸状態を把握する事での、事前準備ができる。

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人ほなみ会)
事業所名 (特別養護老人ホーム南風)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
パラマントベッド株式会社 エスパンシア 介護用電動 3 モーターベッド KA-N1710F			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 1 日	5 台	令和元年 11 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 導入した離床センサー付き介護用電動ベッド 5 台は、認知症等のために危険認識が不十分且つ転倒リスクが高い入居者に対して、昼夜を問わずベッド臥床時に使用している。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 導入した離床センサー付き介護用電動ベッド 5 台は、入居者の動きをベッド上で検知することができる。また、上半身を起こした時、端坐位の時、離床の時等の場面ごとに設定できるため、入居者の身体状況及び精神状況に合わせた援助ができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 上半身を起こした時、端坐位の時、離床の時等の場面ごとに設定ができるため、入居者の身体状況及び精神状況に合わせることができ、過剰な行動制限を防ぐことができる。この機能を活用することで、介護職員が適切なタイミングで訪室することができ、早い段階で危険を回避することができる。 (職員に対する効果) 令和 2 年 4 月 1 日にアンケートを実施した。その結果 90%の職員が身体的・精神的負担の軽減を実感しており、使用方法の理解については、76%の職員が理解をしている。 また、①離床センサー付き介護用電動ベッド ②床式センサーマット ③危機を使用しない場合の条件において、どの条件が介護業務の負担を感じないか (安心できるか) の設問では、85%の職員が離床センサー付き介護用電動ベッドを選択した。 入居者の動きをベッド上で検知することで、介護職員が適切なタイミングで訪室することができ、介護職員の負担感の軽減、安心感の醸成に繋がっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 春風会)

事業所名 (あしたかホーム)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
エスパシアシリーズ超低床ベッド 離床 CATCH+3 モーター			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 29 日	2 台	令和元年 11 月 29 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ナースコールを押さずにベッドから起きようとされる、転倒リスクが高い方。 転倒を防ぐために今までベッドを使うことを避けて布団を使用されていた方。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) おもに起き上がり検知機能を活用し、ベッド上で頭や上体を起こした時点で PHS が鳴るように設定している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) - 起き上がり動作を検知するためご利用者が動き始める段階で訪室することができ、転倒を防ぐことができる。ただし、上半身がベッドから離れたら鳴る設計のため、円背が強い方や多動な方の場合はずかな動きで鳴ってしまうので適用ではない。 - 床上 15.5cm の超低床ベッドのため布団から移行しやすい。転落の危険がある方は超低床にしてさらに横にマットを敷くようにしており、外傷や骨折を防ぐことができる。 (職員に対する効果) - 既存のセンサーの場合は個々のご利用者における適切な設置場所に苦慮していたが、センサーが内蔵されているためその心配がない。 - 必要なコードが少なく、ナースコールのコード用の中継コードも用意されており、断線するリスクが他よりも低い。また、センサーはベッド下部のアクチュエーターに内蔵されている構造のため、衝撃や水濡れの危険が低い。そのため取り扱う上での注意点が少ない。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 春風会)

事業所名 (ニューあしたかホーム)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
エスパシアシリーズ超低床ベッド 離床 CATCH+3 モーター			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 29 日	3 台	令和元年 11 月 29 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ナースコールを押さずにベッドから起きようとされる、転倒リスクが高い方。 転倒を防ぐために今までベッドを使うことを避けて布団を使用されていた方。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) おもに起き上がり検知機能を活用し、ベッド上で頭や上体を起こした時点で PHS が鳴るように設定している。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・起き上がり動作を検知するためご利用者が動き始める段階で訪室することができ、転倒を防ぐことができる。ただし、上半身がベッドから離れたら鳴る設計のため、円背が強い方や多動な方の場合はずかな動きで鳴ってしまうので適用ではない。 ・床上 15.5cm の超低床ベッドのため布団から移行しやすい。転落の危険がある方は超低床にしてさらに横にマットを敷くようにしており、外傷や骨折を防ぐことができる。 (職員に対する効果) ・既存のセンサーの場合は個々のご利用者における適切な設置場所に苦慮していたが、センサーが内蔵されているためその心配がない。 ・必要なコードが少なく、ナースコールのコード用の中継コードも用意されており、断線するリスクが他よりも低い。また、センサーはベッド下部のアクチュエーターに内蔵されている構造のため、衝撃や水濡れの危険が低い。そのため取り扱う上での注意点が少ない。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス上島レジデンス)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2020 年 2 月 19 日	6	2020 年 2 月 19 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある入居者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある入居者の起き上がり情報 ・入居者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事の減少 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足の上昇 ・終末期の入居者の心拍の確認 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安の払拭による、精神的負担の軽減 ・巡視回数の削減による、身体的負担の軽減 ・職員の負担軽減による離職防止 (離職率の減少)			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス富塚レジデンス)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2020 年 3 月 4 日	5	2020 年 2 月 19 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある入居者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある入居者の起き上がり情報 ・入居者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事の減少 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足の上昇 ・終末期の入居者の心拍の確認 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安の払拭による、精神的負担の軽減 ・巡視回数の削減による、身体的負担の軽減 ・職員の負担軽減による離職防止 (離職率の減少)			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス見付レジデンス)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2020 年 2 月 28 日	5	2020 年 2 月 19 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある入居者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある入居者の起き上がり情報 ・入居者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事の減少 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足の上昇 ・終末期の入居者の心拍の確認 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安の払拭による、精神的負担の軽減 ・巡視回数の削減による、身体的負担の軽減 ・職員の負担軽減による離職防止 (離職率の減少)			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (遠州鉄道株式会社)

事業所名 (ラクラス見付ショートステイ)

サービス種別 (単独型短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
眠りSCAN (パラマウントベッド社)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2020 年 2 月 28 日	3	2020 年 2 月 19 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れがある入居者に対し、目覚めや起き上がりを遠隔把握し、タイムリーな介助が必要 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・夜間の自己動作時に転倒の恐れのある入居者の起き上がり情報 ・入居者の目が覚めたタイミングで、トイレサポートやパッド交換を実施			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・先手のケアができ、居室内転倒転落事の減少 ・タイムリーな排泄介助による、顧客満足の上昇 (職員に対する効果) ・居室で何がおこっているかという不安の払拭による、精神的負担の軽減 ・職員の負担軽減による離職防止 (離職率の減少)			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 泉仁会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 瑞穂園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
徘徊コールⅡ HC-3 / ベッドコール ケーブルタイプ			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2年3月31日	3台/2台	2年3月18日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 2台もあり、1台が押さなくセンサーシートが必要 状況が不安定 トイレが、入る回がある (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 本人の誘いの対応 トイレへのつきとり			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 転倒防止 尊厳の保持 (職員に対する効果) 転倒予防に対応できる 職員、不安、ストレス軽減			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 湖成会)

事業所名 (特別養護老人ホーム楓の丘)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
超音波赤外線コール・ベッドコールコードレス			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2020 年 3 月 31 日	4 セット	2020 年 3 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 認知能力の低下に伴い、ナースコールを押すことが難しく、お一人で起き上がり、立ち上がり、歩行について、バランスを崩し転倒するリスクが高い状態。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) センサーの鳴動により、動き出しのタイミングをキャッチし、トイレ誘導、排泄パターンの把握に活用している。それにより転倒転落等事故の予防に役立てている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・動き出しのタイミングをキャッチし、立ち上がりや歩き出す前に職員が訪室することで、転倒・転落事故を予防できた。 ・職員が排泄パターンを知ること、トイレの失敗が減少した。 ・夜間、過度の訪室がなくなり、睡眠を妨げる機会が減った。 (職員に対する効果) ・トイレ誘導のタイミングなどケアのタイミングがわかるようになった。 ・動き出しから転倒するリスクが軽減され、不安が減少し、過度の訪室がなくなったことでケアの効率化が図れた。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人湖成会)

事業所名 (特別養護老人ホーム百恵の郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
(株)テクノスジャパン コールマット・徘徊コールⅢ 型式 HC-3			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和2年 3月19日	1セット	令和2年 3月19日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 特に職員配置の少ない夜間帯において、自居室のベッドから離れる傾向のある入所者様向けに、転倒事故防止の他、スムーズな見守り・声掛け・支援を行っています。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) マットに内蔵されたセンサーにより、入所者様の生活行動の一部を自然な形で事前に察知 (ナースコール・PHS連動) し、適切なタイミングで入所者様居室へ出向き対応ができています。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ■転倒事故は発生しておりません。 ■夜間帯におけるトイレ誘導等もスムーズに行われています。 (職員に対する効果) ■常時、気に掛けながら、各居室を廻り必要なケアを行いますが、事前に入所者様の行動を察知 (ナースコール・PHS連動) できる精神的な安心感の中で業務ができています。 ■何より、転倒事故防止に繋がっており、入所者様の日々の穏やかな暮らしをサポートできています。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人湖成会)

事業所名 (特別養護老人ホーム百恵の郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
(株)テクノスジャパン 超音波・赤外線コール 型式 HUI-R			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和 2 年 3 月 1 9 日	2 セット	令和 2 年 3 月 1 9 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 特に職員配置の少ない夜間帯において、自居室からトイレや共同生活スペースへ移動する傾向のある入所者様向けに、転倒事故防止の他、スムーズな見守り・声掛け・支援を行っています。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 赤外線センサーにより、入所者様の生活行動の一部を自然な形で事前に察知 (ナースコール・PHS 連動) し、適切なタイミングで入所者様居室へ出向き対応ができています。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ■転倒事故は発生しておりません。 ■夜間帯におけるトイレ誘導等もスムーズに行われています。 (職員に対する効果) ■常時、気に掛けながら、各居室を廻り必要なケアを行いますが、事前に入所者様の行動を察知 (ナースコール・PHS 連動) できる精神的な安心感の中で業務ができています。 ■何より、転倒事故防止に繋がっており、入所者様の日々の穏やかな暮らしをサポートできています。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 春風会)
 事業所名 (あしたかホーム 短期入所生活介護)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の製品名			
ハカルプラス株式会社 CAREai つながるモデル 超音波離床検知システム			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和2年 3月 25日	2台	令和2年 3月 25日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・新規利用者の夜間の状態把握に使用(立ち上がりや歩行、トイレ動作など) ・ナースコールの使用が困難で、転落や転倒のリスクが高い方 ・徘徊のリスクがある方 ・日常生活動作を行う時に介助が必要な方 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・利用者の行動に合わせて超音波センサーを設置し、起居・立ち上がり・離床の検知に活用 ・検知後は職員が持つペンダントやリビングに設置した親機へ通知され、職員が居室へ訪室している			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・利用者の状況に合わせた位置にセンサーを設置可能であり、転落・転倒のリスクが高い場面での事故予防が出来てきている ・職員による過度な見守りや訪室が軽減し、利用者への精神的ストレスの軽減が図れている ・センサーが反応することで、利用者が必要とする場面で職員の介入が可能になっている。 (職員に対する効果) ・見守り機器を使用することで効率的に見守り業務を行え、他の介護業務を落ち着いて遂行出来るようになってきている。 ・見えない場所で発生する事故への不安や一人で夜勤に従事する職員の精神的負担が軽減している。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人社団明徳会)
 事業所名 (介護老人保健施設エーデルワイス)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
テクノスジャパン製 ベットコール・コードレスBC-RN			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
2019年 9月 24日	6台	2019年 9月 24日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・転倒リスクのある方 ・ナースコールができず起き上がって動こうとする方 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・起き上がりの段階での動きを把握する			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 転倒リスクの回避 尿意のチェックが早くなる (職員に対する効果) センサーへの対応が早くなった 転倒防止への意識が高まってきた			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (静岡県厚生農業協同組合連合会)

事業所名 (介護老人保健施設 きよみの里)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
FBR-N135 PS02 M2 見守りケアシステム内蔵低床 3 モーターベッド (フランスベッド)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 11 月 29 日	2 台	令和元年 11 月 29 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ベッドから起き上がる時の転倒、転落リスクのある利用者に使用。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・利用者の合わせて起き上がりのタイミングを設定できる。 ・起き上がるタイミングが分かってきたので、訪室の時間を計れる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・歩行可能だが不安定な利用者、認知症のある利用者の転倒、転落防止となっている。 ・夜間の訪室の回数の見直しにより、利用者の安眠の確保が出来る。 (職員に対する効果) ・訪室の回数の見直しが出来き、職員の身体的負担の軽減が出来る。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 和光会)

事業所名 (朝霧の園 従来)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
ベットコール ケーブルタイプ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
R1 年 9 月 30 日	2 台	R1 年 9 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 職員一人で勤務している時間帯に事故を未然に防ぐ対策 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) マットレスの上の背中の位置に配置しナースコールと連動			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 転倒リスクが高いご利用者様に使用。上体を起こすとナースコールで知らせる。 (職員に対する効果) 職員の心理的な負担軽減（見守りを強化しなきゃというプレッシャー） 利用者の行動把握につながり見守りの時間帯や支援の時間帯にメリハリがつけれるようになった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 和光会)

事業所名 (朝霧の園 従来)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
コールマット・徘徊コールⅢ			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
R1 年 9 月 30 日	2 台	R1 年 9 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 職員一人で勤務している時間帯に事故を未然に防ぐ対策 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ベッド横にマットを配置しナースコールと連動			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ベッドに端坐位に座る際にナースコールが鳴り、ベッドからの歩きはじめの転倒予防の効果が高い。 (職員に対する効果) 職員の心理的な負担軽減 (見守りを強化しなきゃというプレッシャー) 利用者の行動把握につながり見守りの時間帯や支援の時間帯にメリハリがつけれるようになった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 和光会)

事業所名 (朝霧の園 ユニット)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
ベットコール ケーブルタイプ			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
R1 年 9 月 30 日	2 台	R1 年 9 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 職員一人で勤務している時間帯に事故を未然に防ぐ対策 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) マットレスの上の背中位置に配置しナースコールと連動			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 転倒リスクが高いご利用者様に使用。上体を起こすとナースコールで知らせる。 (職員に対する効果) 職員の心理的な負担軽減 (見守りを強化しなきゃというプレッシャー) 利用者の行動把握につながり見守りの時間帯や支援の時間帯にメリハリがつけれるようになった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 和光会)

事業所名 (朝霧の園 ユニット)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
コールマット・徘徊コールⅢ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
R1 年 9 月 30 日	2 台	R1 年 9 月 20 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 職員一人で勤務している時間帯に事故を未然に防ぐ対策 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ベッド横にマットを配置しナースコールと連動			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ベッドに端坐位に座る際にナースコールが鳴り、ベッドからの歩きはじめての転倒予防の効果が高い。 (職員に対する効果) 職員の心理的な負担軽減（見守りを強化しなきゃというプレッシャー） 利用者の行動把握につながり見守りの時間帯や支援の時間帯にメリハリがつけれるようになった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人御前崎厚生会)

事業所名 (特別養護老人ホーム灯光園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
見守りライフ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 30 日	6 台	2019 年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 特別養護老人ホームには、認知症の方が入居されている。夜間や早朝にベッド内で目覚めた時に、ベッドから立ち上がり、トイレに行こうとすることがある。歩行が不安定である場合、転倒のリスクを抱えている。ベッドセンサーはベッド上の入居者の動きをコールによって夜勤者が知ることができ、転倒のリスクを大きく減らすことができる。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ベッド上でのお年寄りの動きを、動き出し・起き上がり・端座位・離床の4つのパターンで知ることができる。入居者によりリスクとなる動きが違うため個々に合わせたセッティングで対応することができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 認知症の入居者の夜間の動きを知ること、次の行動を予測することができ、事故の防止につながっている。自分が起きたい時に、タイミングよく職員が介助に入ること、不安なく排泄を済ませ再度眠ることができる。 (職員に対する効果) 夜勤者が夜間の入居者の動きを知ることができることで、タイミングよく入居者の部屋に行くことができる。モニターで見守りができることで、精神的な不安を減らすことができている。 モニターによる集計で眠りの状態を分析し、ケアプランの中でサービス内容作成に活かすことができる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人御前崎厚生会)
 事業所名 (灯光園短期入所生活介護事業所)
 サービス種別 (短期入所)

見守り機器の製品名			
見守りライフ			
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リースの契約期間
2019 年 9 月 30 日	1 台	2019 年 9 月 30 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) 普段は在宅で過ごしており、特養入居者に比較し介護度が軽く体の動きのいい方が利用される。その中には、夜間不眠の方や、夜間せん妄のある方、徘徊のある方が含まれている。また、利用が頻回でない方は、職員がその方の動きを予測することが難しい場合がある。 見守りライフを使用し、早めの対応をすることで転倒を防ぐことができる。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 従来のセンサーマットは、足が床について初めて反応するものであった。見守りライフはベッド上の小さな動き（動き出し）に対応することができるので、早めに駆けつけることができる。 モニター上でその日だけではなく、何日かの情報を得ることができるので、昨日からの流れで生活を掴むことができる。また、介護記録と同じ画面で、呼吸、脈なども見ることができるので細かい情報を掴むことができる。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 夜間に目覚めた時に職員がすぐ対応することで、自宅以外へ泊まる時の利用者の不安を少なくさせることができる。特に見当識障害のある認知症の方には、早めの対応が安心を与える。 (職員に対する効果) 利用者の情報が少ない短期入所の場合、夜間の状態の観察ができていないことがある。夜勤に入って初めてその方と会うこともある。そんな時にモニターでベッド上で動き出した時からのその人の動きを知ることができるのは、夜勤者が精神的に安心することができる。 短期の利用者の日常の生活の中で、個室の様子がわかりにくい日中にベッドに入ることもあり、見守りライフでその様子をフロアーにいて知ることができる。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (社会福祉法人 寿康会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 徳風園)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の製品名			
M2 (フランスベッド)			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
R2年 / 月 30日	5	R2年 / 月 30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・使用対象者は、立位不安定や歩行困難な方で、ベッドからズリ落ち転落の危険性のある方 ・使用の必要性は上記の方の危険防止 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 導入して5ヶ月で情報活用は検討中です。今後、より危険な対象者の方のセンサー反応時間など解析し危険の除去に努めるため活用していきたい。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・起き上がりなど一早く察知できることで、ベッドからのズリ落ち転落を防げている (以前使用していたセンサーマットでは、どうしてもタイムラグがあり駆け付け付けた時にはズリ落ちていた例が多) ・センサーマットを使わなくなりベッド周囲がスッキリした (職員に対する効果) AIベッドの反応がとても早いので見守りの強化につながり職員が安心して仕事に励めています。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (望洋会)
 事業所名 (介護老人保健施設のぞみ)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守りケアシステムM2			
FBR-N135 PS02/SU/M2			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
R1年 9月30日	6台	R1年 9月30日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状況・使用の必要性等) 認知機能の低下・高齢者で危険認知低下がある場合・入所時の状況確認 視力・聴覚機能の低下がある場合など使用 (見守り機器から得られる情報のうち、特に使用しているもの・情報の活用例) 夜間における行動の確認 夜間排泄における時間確認			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) 動作時10秒くらいで介護者が傍にすることが出来安心感が得られている。 ベッドが低床にでき、高齢者には安心感が得られる。 ケーブルが無いので夜間体位が変わっても安心足元がコードでひっかけない。 (職員に対する効果) ベッドに組み込みのため寝返り中であると判りやすく、端坐位の時にアラーム音がなるので、分かり易く直ぐに対応可能である。 誤作動が無いため、介護者も安心感が得られている			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (株式会社ナガシマ)

事業所名 (ナーシングホーム静養館)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
見守りケアシステム M2 (FBR-N135 PS02/SU/M2)			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和元年 10 月 31 日	4 台	令和元年 10 月 31 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・歩行ができないが、認知症によりその認識できず、ベッドから起き上がり、歩行しようとベッドから降りてしまう。事故防止の為、ベッドから起き上がった時点での察知が必要。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・動き出し、起き上がり、端座位などの離床予知アラームを特に活用している。 ・お客様の動作時間情報を活用し、訪室までの時間を考え、どの時点でのアラームが必要か設定可能となっている。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・転倒防止、安全確保ができています。 ・動きを制限させることがない為、ご本人が穏やかに過ごすことができる。 ・センサーに対する違和感の軽減。 ・過度な巡視で睡眠を妨げられることなく良質な睡眠が取れている。 (職員に対する効果) ・早い段階でお客様の動きを察知できる為、転倒防止、安全確保ができています。 ・お客様の動きを制限することなく、職員も穏やかに自然に介護することができる。 ・事故防止に対する心理的ストレスの軽減。不安感・負担感の軽減。 ・最適なタイミングでの訪室が可能となり、業務改善につながっている。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (静岡鉄道株式会社)

事業所名 (グライフ北安東)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の製品名			
パラマウントベッド(株) 「眠り SCAN」			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
2020 年 3 月 16 日	5 台	2020 年 3 月 16 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・グライフ北安東の入居者 (要支援及び要介護、全居室設置) ・睡眠データを介護記録システムと連動。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・睡眠状況データ (介護記録と連動、期間ごとのデータ抽出) ・リアルタイムモニターによる睡眠状況の把握。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・一ヶ月単位などまとまった期間で睡眠データを抽出し、日中の活動量と夜間睡眠のバランスを図ることが出来る。 ・これまで見えていなかった無呼吸症状や浅眠状態を把握でき、協力医と連携することで、医療的なケアの方針につなげる事が出来る。 ・リアルタイムモニターにより、排泄パターンや夜間でも動きが活発になる時間を把握し、その方にあったケアに入ることが出来た。 (職員に対する効果) ・担当者会議などの入居者の支援方針を決定する場面で、睡眠データを活用出来ている。 ・見守り業務が効率化し、覚醒リズムや排泄パターンを把握することで各々にあったケアが行えており、夜間帯業務が効率化している。 ・一部時間帯を眠り SCAN による巡回として実施することで、業務が効率化され、安全性に配慮したうえで月に数回程度夜勤人数を 4 名→3 名といった体制を取ることが可能となった。			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人 志太会)

事業所名 (ユニケア岡部)

サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の製品名			
テクノスジャパン コールマットコードレス			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和2年 3月 18日	3台	令和2年 3月 18日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ・ナースコールを押さずに立ち上がり移動してしまう利用者様3名を選定し、しようしている。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) ・フロア設置用の為特にありません			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ・ナースコールを押さずに立ち上がり移動してしまう利用者様の転倒もなくなり、QOLの維持向上にもつながった (職員に対する効果) ・介護職員の安心感、精神的ストレスの軽減になっている。(特に夜間帯など介護職員の少ない時)			

見守り機器導入効果報告書

法人名 (医療法人 宝美会)

事業所名 (浜名病院)

サービス種別 (介護療養型医療施設)

見守り機器の製品名			
見守り機能付き 高機能エアマットレス アメリア			
導入時期	導入台 (セット) 数	購入日	リースの契約期間
令和 2 年 3 月 4 日	5 台	令和 2 年 3 月 4 日	年 月 日から 年 月 日まで
【見守り機器の使用状況】 (使用対象者の状態・使用の必要性等) ① 摂食不良や脱水・低栄養状態の方の症状が改善傾向の時の使用が適する。又、ADL の上昇傾向時にも適していた。 ② 褥瘡発生患者、発生リスクの高い患者に使用した。 (見守り機器から得られる情報のうち、特に活用しているもの・情報の活用例) 「体動」「起上り」「離床」のセンサー設定の中で「離床」設定が多く使用された。患者の働きがわかり、早急な対応ができています。 「離床」では間に合わない場合「起上り」に変更し、対応した。			
【見守り機器の導入効果】 (利用者に対する効果) ① 体位変換時間の延長により、良質な睡眠の確保ができています。 ② 低栄養、脱水患者の ADL 拡大傾向時に安全な対応ができています。 (職員に対する効果) ① 認知症患者様に利用することで転倒転落防止ができています。 ② 腰痛予防や業務負担の軽減につながっている。			